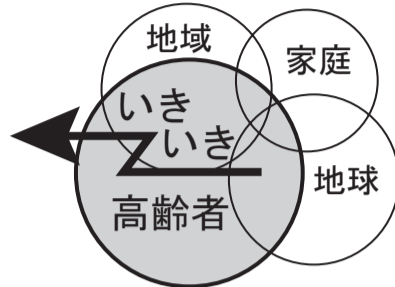


…特集… YMCA サンホーム



全ての世代の人びとが生き生きと生活を営むことができるよう、YMCAでは多様なプログラムを展開しています。高齢者の自立した生活を支える、東大阪市にある大阪YMCAの高齢者支援施設「YMCAサンホーム」。高齢者支援施設とはどのようなところでしょうか？今回は、働くスタッフの方に活動を紹介していただきます。

地域包括支援センター

地域の中核機関として

地域包括支援センターは社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーの3職種が設置が必須であり、地域住民の心身の健康維持、生活の安定、保健・医療・福祉の向上と増進のために必要な援助・支援を包括的に担う地域の中核機関として設置されています。

具体的には、成年後見制度や地域権利擁護事業の円



滑な利用のための支援、虐待対応などの処遇困難ケースの対応、関連機関との連携、高齢者の総合相談・支援など広範囲にわたります。

また、介護予防・予防給付マネジメントの実施もあり、これは要支援1・2の方や特定高齢者の方に対して、適切なサービスが必要に応じて利用できるように介護予防支援を一体的に行い、要介護状態となることの予防を図っています。毎日の業務では、介護保険制度についての説明や、介護上のトラブルに関する相談対応、制度の網からこぼれている方の支援などを重点的に行っています。相談に来られた方の思いに寄り添いながら、適切に支援を行い、「YMCAサンホームに相談して良かった」と少しでも感じていただけたらと思います。(杉村 徹)

ケアプランセンター

公正・中立を旨として

ケアプランセンターサンホームでは、3人の介護支援専門員（ケアマネ



ジャー）が業務に携わっています。ケアマネジャーの役割は、主に介護保険で要支援・要介護認定を受けられている高齢者のサービス計画を作成し、サービス機関との連絡調整を行うことです。身体状況やニーズなどを勘案したサービス計画を立て、デイサービスやホームヘルパーなどの調整をし、高齢者の自立に向けた支援ができるように関係機関との連絡調整を行います。また、公正・中立を旨とし、利用者中心に地域での生活支援を組

ヘルパー

ステーション

高齢者の自立支援

訪問介護員（ヘルパー）は、介護支援専門員（ケアマネジャー）や地域包括センターからの依頼を受け、要支援・要介護認定を受けられた高齢者の自宅に伺い、調理や掃除、入浴介助など必要な支援を行っています。ケアマネジャーな



どの連携を密に行い、高齢者の自立支援に向けた訪問介護サービス計画を立て、サービスを実施しています。高齢者の方々がヘルパーとのふれあいを通して、生活を楽しく、生きる活力につながるような支援をこれからも続けていきます。閉

通所介護サービス

（デイサービス）

デイサービスって「ご存知ですか！」

要介護認定の申請をして、認定された方々（要支援1・2、要介護度1〜5）が事業所と契約を交わされ、自宅（在宅）からデイサービスへ通われています（送迎あり）。

利用目的は閉じこもり防止・他者との関わり（交流）・入浴・栄養指導・家族の介護疲れ軽減・介護予防（ADLの維持）等があり、各曜日、約26名から30名の利用者に対して職員9名から10名の体制でサービスを展開しています。

特別養護老人ホーム

当たり前の生活を

特別養護老人ホームでは、日常生活に介護が必要な方が50名（63歳〜103歳、平均年齢88歳）入居されています。私たちは主にその方々の日常生活（食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴等）の援助をさせて頂いています。また、ショートステイ（短期入所：定員10名）として、在宅で生活されている高齢者が冠婚葬祭、介護者の病

気が介護疲れの時など、一時的に施設へ入所できるサービスも行っています。ケアスタッフは「当たり前」の生活を当たり前前に送れる『を合言葉に日々サービスを展開しています。入居者は年齢を重ねられ、身体、精神機能が若い時のように思うようにならない事もあります。私たちスタッ

食生活創造室

五感に働きかけ

昨年10月の介護保険制度の改定により、『栄養マネジメント』が新しいサービスとして加わりました。特に、高齢者が陥りやすい低栄養状態の改善を目的とし、介護・医療スタッフとの連携による情報交換を基に、個々の栄養ケア計画書を作成し、それに沿った食事を提供するというサービスです。



しかし、私たちは、単に栄養だけに着目するのではなく、五感に働きかける食事、例えば食器や環境の改善、季節感のある食材の使用や行事食、食育をテーマとした季刊紙「食楽通信」の発行など、日々、何げない会話が生まれ、心と身体が健康になる食の提供を目指しています。

また、食育の重要性が見直される中、YMCAのスタッフとして多世代の方と関わりを持つことのできる私たちは、専門職としての知識を十分に活用し、プロとして厳しい目と、愛情を持って、食育の普及に努めていけるよう、日々切磋琢磨しています。(堂本隆子)



あつて、やりがいのある生活を見出す」ことです。一方、介護をされている家族のみならずにも心身共に安定した生活を送れることも大切な目的となっています。介護に関する多様な問題があります。互いに育み合いながら課題を乗り越えています。(葛島経生)

ボランティアしてみませんか？

高齢者の日常生活支援のお手伝いいただけるボランティアを募集しています。
内容： 喫茶、音楽演奏、園芸、朗読、歌・ゲーム、食事介助、掃除、話し相手
問合せ先 YMCAサンホーム
(近鉄奈良線八戸ノ里駅徒歩6分)
TEL 06 (6787) 3733
FAX 06 (6787) 3885